

えん罪・仙台北陵クリニック事件 守大助さんを支援するちばの会

現在会員 87 名(来年 5 月まで 200 名目標)

第 2 号 2010 年 7 月

千葉駅頭でえん罪・北陵クリニック・布川事件の宣伝はじめる！

早速、6月3日の夕方千葉駅頭で救援会県本部常任委員会前に救援会県本部役員、布川事件守る会、北陵クリニック事件の支援する会など定例の宣伝行動を行いました。この行動も布川事件守る会の人たちが5年前から市民にえん罪事件を知らせることが大切である地道に続けています。その教訓を生かして街頭宣伝を継続して行きます。



第 2 回世話人会を開きました。

6月27日 14時～ 救援会県本部会議室

参加者 6 名

会員の到達、世話人への連絡体制の確認、県本部に事務局デスクの確保
世話人体制の強化で四街道、八街地域にその他

9月18日(土) 14時～17時

労音お茶の水センター(全労連会館裏)
関東地区北陵クリニック事件の支援する会、
救援会への呼びかけをする。

郵便振替口座開設 (用紙も出来ました)

00230-2-68341

加入者名

守大助さんを支援するちばの会



あの当時を思うと…大助さんは無実！

私は事件当時北陵クリニック病院に出入りしていた検査会社に勤めていました。そこで知り合った大助さんはいつも笑顔で私を笑わせてくれ、患者さんに対してもいつも笑顔で優しく接していました。点滴を嫌がって泣いている子供の頭を優しく撫でているのを何度か見たことがあります。当時、事件報道があった後もしばらく私は病院に出入りしていました。

その度にマスコミに囲まれ、どこから入手したのか私の携帯にまで電話がかかって来ることも多くありました。そのために私は黙ることを選んでしまった…きちんと調べれば大助さんじゃないと直ぐに証明されると信じていたこともあり、何もしないにことを選んでしまいました。

そんな私でも、今さら…と思いながらおずおずと上げた手を大助さんは笑顔で迎えてくれました。何年経っても私はだいすけさんが無実であることを信じています。あんなに優しい笑顔で患者さんに接する事ができる人が、あんな恐ろし事の犯人なわけがないですから…佐々木さん



神奈川支援する会・救援会神奈川 県本部とちば支援する会・救援会千 葉県本部の交流・懇親会を行う。

田戸、渡会、菅原、鷲尾、土井、北川、戸賀各みなさんが集まり、現在のこの事件の現状を出し合って支援する運動をさらに前進させるために協力して行くことにしました。

6月17日に行われた救援会中央での会議の中心が鷲尾さんから報告を受けて全国的に20を越す支援する会が作られていることの大切さとそれらの会の人たちと再審に向けて運動をどのようにするのか。

当面は 4 団体で関東地区の支援する会や救援会に呼びかけて9月18日(土)14時～東京で交流会を行うことを決めました。日弁連への支援決定要請文を作って送ろうと文案を作成中です。

会員の皆さんへ
二ユースへの投稿を募集して
います。大助さんの思いだけで
はなく、詩でも写真でも入会し
た気持ちも・・・勿論この事件
の不当な検察へ怒りもお願いし
ます。
○八年の七月から千葉刑務所
に収監されて二年になります。
述べ面会者は二〇〇名になりま
す。一度大助さんに会って彼の
人柄に見てください。
面会日は
七月は十五、二十八、三十日
八月一〇、一九、二七日
千葉市松波一・四二・四〇一
国民救援会千葉県本部内
えん罪仙台北陵クリニック事件
守大助さんを支援するちばの会